

ダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）は15日、中学・高校生を対象とした「キャリア教育推進のための企業訪問学習」を受け入れた、と発表した。

文部科学省のキャリア教育推進の一環として推奨されている取り組みで、全国の中高校生が多様な職業について学び、自らのキャリアを考えるきっかけとするのが目的。ダイワコーポでは2024年、3校18人の生徒を受け入れた。

25年は6月4、10の両日に実施し、愛知県の中学3

年生5人、川崎市の中学2年生6人の計11人が参加。ダイワコーポでは倉庫業に



学 VRを使い倉庫を疑似見

ダイワコーポ

訪問学習受け入れ

中学生11人 VRで倉庫見学

期待される社会的な役割を伝えたほか、倉庫の現場を身近に感じてもらうため、採用活動で使用するVR（仮想現実）を使い倉庫の疑似見学を体験してもらった。また、今後のキャリア選択や将来を考えるきっかけとなるグループワークも行った。

参加した生徒からは「物流事業は運送のイメージが強かったが、倉庫での管理もしっかりしていなければ成り立たないと思った」「物流は世界を支える職業だと感じた」といった感想が出た。
（吉田英行）